

かつしか 区議会だより

第3回定例会

9月	14日	本会議（一般質問等） 特別委員会（地方分権・行革、危機管理対策）
	15日	本会議（一般質問、議案の付託等） 決算審査特別委員会
	16～23日	常任委員会（建設環境、保健福祉、文教、総務）
	26日	議会運営委員会
	27日	本会議（議案の議決等）
	28～30日	特別委員会（地方分権・行革、危機管理 対策、都市基盤整備）
10月	3～11日	決算審査特別委員会
	13日	議会運営委員会
	14日	本会議（議案の議決等）

主な内容 2～4面…一般質問 5～7面…決算特集 8面…可決された議案ほか

No.229 平成28年（2016年）11月15日発行 葛飾区議会 〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 ☎3695-1111 FAX5698-1543



水元公園のカモ

平成27年度決算5件を 審査・認定

今回の定例会では、7名の議員から区政一般質問が行われたほか、平成28年度一般会計補正予算（第2号）をはじめとする区長提出議案等19件

と、無年金者対策の推進を求める意見書（下欄参照）など、議員提出議案5件が可決されました。

可決された意見書（要旨）

今回の定例会では次の意見書5件を可決し、関係機関に送付しました。

無年金者対策の推進を求める意見書

政府に対し、必要な財源の確保を含め、安心の社会保障の実現を図るため、次の事項について早急に取り組みを強く求める。①無年金者対策は喫緊の課題であることから、年金の受給資格期間を25年から10年に短縮する措置について、平成29年度中に確実に実施できるように必要な体制整備を行うこと。②低年金者への福祉的な措置として最大月額5千円（年6万円）を支給する「年金生活者支援給付金」等については、財源を確保した上で、できるだけ早期の実施をめざすこと。

チーム学校推進法の早期制定を求める意見書

国会及び政府に対し、教員が、総合的な指導を担う日本の学校の特徴を生かしつつ、複雑化・困難化する課題に対応できる「次世代の学校」を構築していくため、次の事項の実施について強く求める。①教職員体制の整備充実を図るとともに、専門職員や専門スタッフ等が学校運営や教育活動に参画していく「チーム学校」の実現を図るため、チーム学校推進法を早期に成立させること。②教員が担うべき業務に専念し、子どもと向き合う時間を確保するため、学校や教員が携わってきた従来の業務を不断に見直し、教員の業務の適正化を促進すること。③部活動は、教員の負担軽減を図りつつ、部活動の指導を充実するため、休養日の設定を徹底した上で、地域のスポーツ指導者や引退したトップアスリート、退職教員、運動部や文化部所属の大学生等、地域の幅広い協力を得て行えるよう、環境整備を進めること。④教員の長時間労働という働き方を見直し、心身ともに健康を維持できる職場づくりを推進するため、国は定期的な実態調査の実施やメンタルヘルス対策の推進を図ること。

返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書

政府に対し、納税者である国民の理解も得つつ、学生が安心して勉学に励めるよう、返済不要の「給付型奨学金」の創設や無利子奨学金の拡充など具体的な経済支援策として、次の事項について取り組むことを強く求める。①学ぶ意欲のある若者が経済的理由で進学を断念することがないよう、奨学金や授業料減免などの支援を拡充するとともに、貧困の連鎖を断ち切るため、平成29年度を目標に給付型奨学金を創設すること。②希望するすべての学生等への無利子奨学金の貸与をめざし、「有利子から無利子へ」の流れを加速するとともに、無利子奨学金の残存適格者を直ちに解消すること。③低所得世帯については、学力基準を撤廃し無利子奨学金を受けられるようにすること。④返還月額が所得に連動する新所得連動返還型奨学金制度については、制度設計を着実に進め、既卒者への適用も推進すること。併せて、現下の低金利環境を踏まえ、有利子奨学金の金利を引き下げることを。

同一労働同一賃金の実現を求める意見書

国会及び政府に対し、日本の雇用制度にすでにヒルトンされている独自の雇用慣行や中小企業への適切な支援にも充分留意し、非正規雇用労働者に対する公正な処遇を確保し、その活躍の可能性を大きく広げる「同一労働同一賃金」の一日も早い実現のため、次の事項について躊躇なく取り組むことを強く求める。①不合理な待遇差を是正するためのガイドラインを早急に策定するとともに、不合理な待遇差に関する司法判断の根拠規定を整備すること。②非正規雇用労働者と正規雇用労働者との不合理な待遇差の是正及び両者の待遇差に関する事業者の説明の義務化などについて関連法案の改正等を進めること。③とりわけ経営の厳しい環境にある中小企業に対して、例えば非正規労働者の昇給制度の導入等の賃金アップや処遇改善に取り組みやすくするための様々な支援のあり方についても十分に検討すること。

精神障害者に対する公共交通機関の運賃割引の適用を求める意見書

国会及び政府に対し、公共交通機関の運賃割引制度について、交通事業者に対し、精神障害者も、身体障害者及び知的障害者と同様に適用対象とすることを働きかけるよう強く求める。

政治家の寄附は、禁止されています。また、年賀状等時候の挨拶状（答礼のための自筆のものを除く。）を出すことも禁止されています。

議員等政治家が、お祭り、親睦旅行会、会合などの行事に寄附や差し入れ等をしたり、お祝い金（出産・新築等）、贈り物（お中元・お歳暮等）をすることは、公職選挙法により罰則をもって禁止されており、要求した人も罰せられます。

区政を聞く一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録(11月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

答 公園の施設へのいたずらなどの事件が発生しており、警察の巡回をお願いしている。自治町会等でも街の防犯対策に力を入れるところが増えており、防犯カメラの設置要望が多く寄せられているため、犯罪を抑止し、安全・安心な街づくりに向けて、事件が多発している公園や児童遊園に防犯カメラを設置していく。

大規模水害対策
 問 江東5区広域避難推進協議会を立ち上げたのと聞いていますが、広域避難の実現をどのように進めていかか伺います。
 答 協議会では、5区の事業が特色した荒川での想定に基づく具体策として共同検討組織の設置基準の明確化や対応策の検討、病院・要配慮者施設などのヒアリングの実施など、互いの検討結果を情報交換しながら進めていく。

※他の質問項目 江東5区大規模水害対策協議会の経過と結果 など



公共施設の監視カメラ

学校の校庭芝生化
 問 芝生化した校庭の維持管理で生じている課題と区の対応、また、今後の取り組みについて伺います。
 答 芝生化した校庭の維持管理で生じている課題として、草刈りや水まき、肥料散布などの作業負担の軽減、また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。

校庭芝生化について区の見解を伺う
 答 芝生化した校庭の維持管理で生じている課題として、草刈りや水まき、肥料散布などの作業負担の軽減、また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。

校庭芝生化について区の見解を伺う
 答 芝生化した校庭の維持管理で生じている課題として、草刈りや水まき、肥料散布などの作業負担の軽減、また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。

校庭芝生化について区の見解を伺う
 答 芝生化した校庭の維持管理で生じている課題として、草刈りや水まき、肥料散布などの作業負担の軽減、また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。

校庭芝生化について区の見解を伺う
 答 芝生化した校庭の維持管理で生じている課題として、草刈りや水まき、肥料散布などの作業負担の軽減、また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。

校庭芝生化について区の見解を伺う
 答 芝生化した校庭の維持管理で生じている課題として、草刈りや水まき、肥料散布などの作業負担の軽減、また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。

校庭芝生化について区の見解を伺う
 答 芝生化した校庭の維持管理で生じている課題として、草刈りや水まき、肥料散布などの作業負担の軽減、また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。

校庭芝生化について区の見解を伺う
 答 芝生化した校庭の維持管理で生じている課題として、草刈りや水まき、肥料散布などの作業負担の軽減、また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。

校庭芝生化について区の見解を伺う
 答 芝生化した校庭の維持管理で生じている課題として、草刈りや水まき、肥料散布などの作業負担の軽減、また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。

校庭芝生化について区の見解を伺う
 答 芝生化した校庭の維持管理で生じている課題として、草刈りや水まき、肥料散布などの作業負担の軽減、また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。

校庭芝生化について区の見解を伺う
 答 芝生化した校庭の維持管理で生じている課題として、草刈りや水まき、肥料散布などの作業負担の軽減、また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。

校庭芝生化について区の見解を伺う
 答 芝生化した校庭の維持管理で生じている課題として、草刈りや水まき、肥料散布などの作業負担の軽減、また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。

校庭芝生化について区の見解を伺う
 答 芝生化した校庭の維持管理で生じている課題として、草刈りや水まき、肥料散布などの作業負担の軽減、また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。

校庭芝生化について区の見解を伺う
 答 芝生化した校庭の維持管理で生じている課題として、草刈りや水まき、肥料散布などの作業負担の軽減、また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。

校庭芝生化について区の見解を伺う
 答 芝生化した校庭の維持管理で生じている課題として、草刈りや水まき、肥料散布などの作業負担の軽減、また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。

校庭芝生化について区の見解を伺う
 答 芝生化した校庭の維持管理で生じている課題として、草刈りや水まき、肥料散布などの作業負担の軽減、また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。また、児童の安全確保、環境美化などの観点から、草刈機や水まき機、肥料散布機などの導入を検討しています。

区政を聞く一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録(11月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

葛飾区議会民進党議員団
 問 葛飾区議会民進党議員団の活動について伺います。
 答 議員団の活動として、議員の相互連携の強化、市民との接点の拡大、政策の推進などに取り組んでいます。

葛飾区議会民進党議員団
 問 葛飾区議会民進党議員団の活動について伺います。
 答 議員団の活動として、議員の相互連携の強化、市民との接点の拡大、政策の推進などに取り組んでいます。

葛飾区議会民進党議員団
 問 葛飾区議会民進党議員団の活動について伺います。
 答 議員団の活動として、議員の相互連携の強化、市民との接点の拡大、政策の推進などに取り組んでいます。

葛飾区議会民進党議員団
 問 葛飾区議会民進党議員団の活動について伺います。
 答 議員団の活動として、議員の相互連携の強化、市民との接点の拡大、政策の推進などに取り組んでいます。

葛飾区議会民進党議員団
 問 葛飾区議会民進党議員団の活動について伺います。
 答 議員団の活動として、議員の相互連携の強化、市民との接点の拡大、政策の推進などに取り組んでいます。

葛飾区議会民進党議員団
 問 葛飾区議会民進党議員団の活動について伺います。
 答 議員団の活動として、議員の相互連携の強化、市民との接点の拡大、政策の推進などに取り組んでいます。

葛飾区議会民進党議員団
 問 葛飾区議会民進党議員団の活動について伺います。
 答 議員団の活動として、議員の相互連携の強化、市民との接点の拡大、政策の推進などに取り組んでいます。

葛飾区議会民進党議員団
 問 葛飾区議会民進党議員団の活動について伺います。
 答 議員団の活動として、議員の相互連携の強化、市民との接点の拡大、政策の推進などに取り組んでいます。

葛飾区議会民進党議員団
 問 葛飾区議会民進党議員団の活動について伺います。
 答 議員団の活動として、議員の相互連携の強化、市民との接点の拡大、政策の推進などに取り組んでいます。

葛飾区議会民進党議員団
 問 葛飾区議会民進党議員団の活動について伺います。
 答 議員団の活動として、議員の相互連携の強化、市民との接点の拡大、政策の推進などに取り組んでいます。

葛飾区議会民進党議員団
 問 葛飾区議会民進党議員団の活動について伺います。
 答 議員団の活動として、議員の相互連携の強化、市民との接点の拡大、政策の推進などに取り組んでいます。

葛飾区議会民進党議員団
 問 葛飾区議会民進党議員団の活動について伺います。
 答 議員団の活動として、議員の相互連携の強化、市民との接点の拡大、政策の推進などに取り組んでいます。

区政を聞く一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録(11月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

ンを再構築する上で有効であると考えており、今後、導入を検討する。
※他の質問項目 乳幼児がいる家庭向けの防災ブックの作成 など

認知症の正しい理解と共生の地域社会づくり

問 認知症の正しい理解を促進していく必要があると思うかがか。

答 認知症への理解を深めるため、認知症サポーター養成事業を実施し、延べ1万1千人の方に認知症サポーターとなつていただいた。現在、地域包括ケアシステム推進モデル事業の中で、認知症サポーターの方に、認知症カフェの運営や実践的な講座に参加していただいている。認知症サポーターの養成と経験の積み重ねによるスキルアップを図るとともに、もの忘れ相談会の開催やもの忘れ予防健診などを通して、認知症の正しい理解の促進に努めていく。

問 かるたなど誰もが知っていて、手に取りやすく、世代を選ばずに遊べるツールで認知症に対する正しい知識の普及啓発が広がると考えるが、区の考えを伺う。



すみだオレンジかるた

答 知識を普及啓発するためには、単にチラシやパンフレットだけでなく、より積極的なアプローチが求められているため、効果的な方法を検討し、実施する。

問 家族介護者に寄り添う仕組みづくり これまで実施した家族介護者教室の今後の課題を伺う。

答 身体的、精神的、経済的など複数の悩みを抱えている介護者の場合、一つのテーマに絞った講座では悩みの解消につながらない。気軽に、かつ継続的に参加できるように、家族介護者の意向や要望をふまえた教室を開催することが大切だと考える。

問 家族介護者のもとへ訪問して話を聞き、技術の習得支援をすることで、不安や疑問を解消し、身体的・精神的負担を軽減できる仕組みを取り入れるべきと考えるが、いかがか。

答 国の地域支援事業のあり方への検討状況を注視しつつ、実態を把握した上で検討する。

奥戸フラワーパークの活用

問 バラの魅力をもっと引き出し、知ってもらうために、バラの見頃の時期にバラフェスタを開催し、太陽光エネルギーを活用した夜間のライトアップを試みてはどうかか。

答 バラフェスタの開催や夜間のライトアップは、区民との協働を念頭に関係機関と連携して検討する。

※他の質問項目 奥戸フラワーパークのアピール など

日本共産党葛飾区議会議員団

医療・介護の充実 保育の質の向上を

核兵器廃絶と平和関連事業

問 核平和都市宣言を行った区長として核兵器禁止平和条約の締結と核兵器先制不使用をどのように考えるか。

答 本区も加盟する平和首長会議加盟の世界の自治体と手を携え、核平和の実現に向け世論の醸成に取り組む。他の質問項目 核平和都市宣言区の看板の増設 など

健康格差の是正

問 国は子どもの医療費助成を行う自治体にペナルティーを実施するが、その廃止を求めるべきと思うがどうか。

額調整措置の廃止を要望している。本年3月にも廃止を強く要望した。一つのテーマに絞った講座では悩みの解消につながらない。気軽に、かつ継続的に参加できるように、家族介護者の意向や要望をふまえた教室を開催することが大切だと考える。

問 国は後期高齢者医療制度の低所得者への保険料の特例軽減を廃止しようとしているが、廃止をやめるよう国に求めるべきと思うがどうか。

答 国に対し全国後期高齢者医療広域連合協議会を通して、やむを得ず見直す場合には被保険者の負担を最小限に抑え、急激な増加とならないように激変緩和措置を要望している。

厚生労働省は実質的に患者の選択に

よらない場合は差額ベッド代を求めなければならないと通知するが、入院施設を持つ区内医療機関へ通知に沿った対応を求めるべきと思うがどうか。

答 区内医療機関に対し、差額ベッド代の適正な運用に係る厚生労働省の通知について改めて情報提供する。

※他の質問項目 差額ベッド代の助成 制度の創設 など

保育士の処遇改善と保育所待機児解消

問 江戸川区では育児休業中の保育士が無給とならないよう、雇用保険の給付金を延長する独自の制度があるが、本区でも実施すべきと思うがどうか。

答 保育士の処遇改善の必要性は認識しており、事業者の意向を踏まえ求職者と事業者のマッチングや処遇改善など本区に有効な対策を検討する。



保育園で遊ぶ子どもたち

問 本区の新基準による待機児童数は4月時点で106人だが、認可施設に申し込んで入れなかった子どもは400人以上いる。旧基準による待機児童解消

の対策を考えるべきと思うがどうか。

答 待機児童解消対策は優先すべき課題であり、平成27年度から3年間で千250人の定員増を図っている。新旧基準にとられず、年度途中であつても必要な方に必要なサービスを提供できるように整備を進める。

問 認可外保育施設で事故が多発しているが、認可外施設への新たな補助制度を作り、区内の認可外保育施設に対し、区が積極的に関与し監督責任を果たすべきと思うがどうか。

答 認可外保育施設への指導監督は都が年1回以上実施し、区も協力して立ち調査の立ち会いや相談・指導などを行っている。また、新たな補助制度については、現時点で実施する考えはないが、認可施設への移行相談など、より高い保育サービスを提供できるように必要な働きかけを行う。

※他の質問項目 区独自の資金助成制度の創設 など

商店街と個店への支援

問 98商店会とともに区内小売店を対象に、活性化と消費拡大に何が必要かの調査を実施してはどうか。

答 区内98商店会へは年2回アンケート調査を実施し、事業実施の把握や要望などを伺っている。これまでも活性化と消費拡大を図り、フードフェスタやプレミアム付商品券などに取組んだ。今後もアンケート調査により先手先手の施策を実施するため、調査を実施する考えはない。

※他の質問項目 専門家による個店支援 など

自転車置き場

問 駅からの遠近により受益に差が生じるが、一律の有料化により受益者負担が逆に拡大するのではないか。

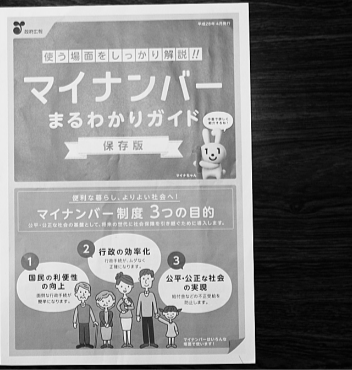
答 自転車置き場は受益者負担の原則などから有料の自転車置き場として整備している。有料化にあたり、駅からの距離など施設の状態に応じた料金を設定しており、受益者負担を拡大することにはならない。

無所属 (※4)

マイナンバー、防災、雇用 長期的な区民第一の選択を

社会保障・税番号制度

問 個人番号カードの交付が遅れたようだが、現時点での個人番号カードの申請数や交付状況を伺う。



マイナンバーリーフレット

答 本年8月末現在約5万5千件の申請があり、約4万8千件の交付通知書を送り、うち約2万8千件は既に交付し、残りも順次受け取れる状況にある。地方公共団体情報システム機構のカード管理システムの障害などにより交付が遅れが生じたが、専用窓口の設置など交付促進に努め、現在では円滑な事務執行が可能となった。これからも、迅速な交付に努める。

問 制度に対応するための区財政への負担も大きくなっている。制度の費用対効果を区はどのようにみているのか。また、今後の見通しを伺う。

答 本制度の導入にあたり業務システムの改修などに多額の経費を要した。平成28年以降に作成する給与所得の源泉徴収票などの法定調書に個人番

号の記載が必要であり、また来年7月から自治体間での情報連携やマイナンバーのサービス開始など運用が順次拡大される予定である。区としては法改正やシステム改修などに的確に対応し、行政手続の簡素化や効率化に一層取り組むとともに、個人番号カードなどを活用した区民サービスの向上策の検討を深め、制度導入の効果を一層高めていく。

※他の質問項目 社会保障・税番号制度に関わる区財政の歳出と歳入

問 新小岩公園防災高台整備事業 問高台化に用いる土の安全性の担保のため区が調査すべきと思うがどうか。

答 仕様書などに土質や性状などの条件を規定するとともに、実際に搬入された土が仕様に基づくものであることを区が調査・確認するほか、土の搬出先の状況も現地を確認する。将来、公園として安心して利用できるように土の安全性に十分配慮する。

問 区が行うべき災害対策として、広範な地域住民の意見を聞き、地域住民が納得できる事業として進めるべきと思うが区の考えを伺う。

答 地域住民に本事業の意義や必要性を積極的に説明するとともに、公園の再整備にあたり地域住民や公園の利用者と意見交換しながらニーズに合った公園となるよう取り組む。

※他の質問項目 再公募に向けた検証結果の公表予定

公契約条例

問 公契約条例の制定について検討を進めるべきと思うが、区の考えを伺う。

答 公契約条例の趣旨は十分理解しているが、区内の中小・零細企業に与える影響も大きいことから、慎重な検討が必要である。広く関係団体の意見を聞き、引き続き検討する。



平成27年度各会計決算

	歳入決算額 (円)	対前年度 伸び率	歳出決算額 (円)	対前年度 伸び率	歳入歳出 差引額 (円)
一 般 会 計	192,751,966,298	6.7%	181,643,500,084	5.5%	11,108,466,214
国民健康保険事業特別会計	59,424,163,618	15.1%	59,242,918,178	15.7%	181,245,440
後期高齢者医療事業特別会計	8,843,541,889	3.2%	8,833,273,318	3.1%	10,268,571
介護保険事業特別会計	33,439,271,421	4.7%	32,866,147,937	3.5%	573,123,484
駐車場事業特別会計	719,484,513	1.0%	718,638,152	0.9%	846,361
合 計	295,178,427,739	7.9%	283,304,477,669	7.1%	11,873,950,070

決算審査特別委員会 平成27年度決算を審査

9月15日の本会議において、平成27年度各会計歳入歳出決算5件を審査するため、36名の議員で構成する決算審査特別委員会が設置されました。

各分科会で審査を行い、その後、決算審査特別委員会において、各会計決算について採決を行い、いずれも認定すべきものと決定し、10月14日の本会議において認定されました。

一 般 会 計

歳入	金額	伸び率
特別区交付金	730億9799万3千円	37.9%
国庫支出金	351億3544万3千円	18.2%
特別区税	322億9756万2千円	16.8%
都支出金	123億3888万2千円	6.4%
地方消費税交付金	99億2703万7千円	5.1%
繰越金	84億8994万1千円	4.4%
諸収入	64億1089万3千円	3.3%
繰入金	45億8105万8千円	2.4%
使用料及び手数料	29億9329万4千円	1.6%
特別区債	27億2000万0千円	1.4%
その他	47億5986万3千円	2.5%
合 計	1927億5196万6千円	

歳出	金額	伸び率
福祉費	680億5143万9千円	37.5%
総務費	254億5874万8千円	14.0%
職員費	250億9910万1千円	13.8%
教育費	169億3669万6千円	9.3%
諸支出金	167億2647万1千円	9.2%
都市整備費	124億9873万8千円	6.9%
環境費	45億6301万4千円	2.5%
衛生費	42億8503万2千円	2.4%
公債費	40億1065万9千円	2.2%
産業経済費	33億5821万5千円	1.8%
議会費	6億5538万8千円	0.4%
合 計	1816億4350万0千円	

※ その他は分担金・負担金など。
※ 千円未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

平成27年度決算に対する各会派の意見

この面から7面まで、平成27年度決算に対する各会派の意見を掲載しました。

自由民主党議員団

将来の財政負担を見据え
効果的・効率的な行政運営を

平成27年度は安倍内閣による経済施策により、幅広い分野で良好な経済状況がみられるようになるなど、経済の好循環が着実に回り始めました。さて、本区においては、これから一斉に改築や大規模修繕の時期が到来する公共施設の維持・更新の適切な実施や、まちづくり事業の進展に伴う、経費の増加に対応するために、これまで以上に効果的・効率的な行政運営と安定した財政基盤の確立が求められます。

そのため、27年度の各決算に関して、は適正に執行されたものと認めますが、今後の行政運営に資するため、わが党の意見要望を申し添えます。

総務費については、本区は地盤の弱い土地が多いため、建物の耐震化や液化対策の今後の充実を求めます。土地開発公社経費は低金利の融資などの活用で財政負担の軽減を求めます。本庁舎の出退勤管理のシステム化は行革の観点から早期実施を望みます。新小岩の新病院は、目標の病床数を早期に達成するように求めます。公共施設オープン・リノベーション推進事業は、住民への丁寧な対応を行い、地域に溶け込む活動を行う施設運営を望みます。また、区内の宿泊施設の充実と違法民泊業者の取り締まりの強化を求めます。職員費は、適正に執行されていると評価します。

産業経済費では、商店街装飾灯のLED化は、全商店街への普及を望みます。観光マップは、WiFi環境の掲載など情報の充実を求めます。真さん記念館の展示や真さんサミットは、さらなる企画の充実を求めます。

福祉費では、介護は必要としないが、経済的その他の理由で自立支援が必要が高齢者が増えている現状に鑑み、特別養護老人ホーム措置費が昨年度比で約2千万円増えていることは、高く評価します。現在建て替えを行っている私

葛飾区議会公明党

区民第一の区政運営を

区民の皆様が安心して暮らせる区民第一の区政運営が求められています。今後も行政改革に取り組み、効果的な区政運営を進められるよう求めます。

総務費では、職員の健康管理上から適正な業務配分や働き方のあり方を常に見直し、適切な業務の実施を望みます。公共施設等総合管理計画は、今後の本区の施設等の更新には欠かせない計画であり、区民サービスの向上はもとより、財政負担とのバランスの取れたものを望みます。防災については、熱心に取り組む町会にリヤカーなどの防災資器材を提供する仕組みを構築すること、ガラスの飛散防止の助成制度の創設を望みます。また、出生届用紙を葛飾らしいイラスト入りのものにするなど工夫を望みます。産業経済費では、伝統産業の取組拡大の支援拡充や後継者の育成に力を入れ、また多くの文学作品の舞台でもある柴又の更なるPRを求めます。観光施策では堀切菖蒲園の菖蒲を株分けした都市との交流事業の創設や、区内全体の観光資源をつなぐ、誘引性・回遊性の推進を求めます。福祉費は、日常生活用具について今後も区民の要望に応える検討を望みます。また、ヘルパードのさらなる周知徹底・普及啓発の推進を求めます。保育園待機見解消に向け計画的に取り組んでいることを評価しますが、さらに定員の弾力的な活用を望みます。5歳児健診は、すべての保護者がこの事業の意義を理解し、健診後のフォロー体制につながることを望みます。衛生費では、防災無線による熱中症予防の注意喚起に暑さ指数も加えることを望みます。インフルエンザ予防接種率向上のため、個別に接種票の送付を求めます。動物適正飼養の推進には飼い主に対する啓発を図る犬のしつけ教室の実施を望みます。飼い主の

は、申請から還付までの仕組みの検討や助成額の増額など制度の拡充を望みます。環境費は、資源とごみの収集力レンダーは、ごみの分別や資源リサイクルへの意識啓発に効果があり、今後さらに区民の協力を得るためにも、区民サービスの向上を目指し、継続実施を望みます。地域緑化推進事業は、地域をつなぐ活動として、満足度が上がるように工夫を求めます。地球温暖化対策では、環境先進区を目指し、積極的な取り組みを望みます。また、食品ロス削減への取り組みとしてフードドライブを拡充し、自主的に実施できる仕組み作りを望みます。都市整備費では、密集住宅市街地整備促進事業は、用地取得に協力する借地人への生活再建の協力と、所有者不明の土地の財産管理制度の利用促進を望みます。新小岩駅南口駅前広場整備工事は、誰でもトイレの設置をするべきです。また、事業認可を取得した補助26号線(細田北地区)の整備事業は、用地取得や道路整備についても丁寧な対応を望みます。教育費では、中学生海外派遣で事前学習の充実を図り、ホームステイ先での十分な時間の確保と現地の生徒との継続的な交流を望みます。小中学校での「がん教育」の実施にあたっては、教育委員会を中心に保健センターと連携してキャラバンを組むなど積極的に推進されるよう望みます。特別支援教室のさらなる充実を図るため、MIIMの効果的活用と特別支援教室専門員をバックアップする体制の整備を求めます。これからの学校改築・改修計画は総合管理計画の方針を踏まえて適切な選定を行い着実な推進を望みます。未来の子ども達への本区からのプレゼントとなるような夢のある読書通帳の作成を求めます。各特別会計については適正に執行されていると認定いたしますが、介護保険事業については認知症の早期発見・早期診断の一助となる認知症アプリの導入を望むとともに、自宅で介護する方の負担軽減を図る「訪問レッスン」が適切な予算措置を講じ実施されるよう求めます。

日本共産党葛飾区議会議員団

千百万円超の基金は取り崩し
区民生活応援の区政に

今期、区には、消費税増税などにより、100億円を超える決算剰余金がありましたが、ほぼ同額を基金に積み立ててしまいました。合理性のない過大な基金は取り崩し、苦しい区民生活の応援のために使うべきです。

特別養護老人ホームの申し込み基準を要介護3以上としたために、要介護1・2の方の申し込みが激減しました。それでも千を超える待機者があります。

待機児童の解消は、喫緊の課題です。認可保育所の増設は、保育の質の低下をさせないために、官民連携を促進し、社会福祉法人を支援すべきです。

区民事務所での難病や精神の申請業務を行うようになり、利用者がいない窓口での申請は、利用者にとってサービスの低下となっています。

児童館全廃の計画は中止すべきです。新小岩の複合施設は、関係者の意見をよく聞き、拙速な計画化は行わずに、区民事務所での難病や精神の申請業務を行うようになり、利用者がいない窓口での申請は、利用者にとってサービスの低下となっています。

葛飾区議会市民進党議員団

より一層の行政改革と財政運営を

総務費 総務管理費では、人事管理において災害時の非常勤職員などの職務・役割が明確でない。

福祉費 児童福祉費では、国の待機児童解消のための緊急対策や都の1億円に上る補正予算など対策メニューを活用し早急に進めることを求める。

都市整備費 補正予算での特定空室に対しての行政代執行を実施するなどスピード感を持った対応を評価する。

教育費 教育総務費では、特別支援教室の整備を高評価する。今後さらに進めていくために就学前からのアイリスネットの活用や、巡回指導教員を専門員に拡充・資質向上を求め、日本語を母語としない子どもたちの支援のため、(仮称)多文化共生センターの設置の準備を早急に進めるよう求める。

無所属(※1)

27年度決算は、全体的に区民の生活

健康、医療、防災、都市交通、街づくりなど重要な予算が執行されている。個々には改善や見直しを強く要望する案件もあるが、総合的に判断した場合、区民生活には不可欠な予算であり、区民生活を守る区政を望む。福祉費は、特に児童福祉で待機児童解消のための保育所の増設、学童保育クラブの設置は喫緊の課題であり、質の高い安全な保育が提供できるよう強く要望する。

無所属(※2)

小中学校は子どもの学力を引き上げる責任を果たせ

総務費 昨年度も指摘したエコーライフプラザのリニューアル展示・販売は人気が高かったが、当初の目的を達成していることは評価するが、販売収入より委託費が対内円赤字に上っており、今後この事業を継続するならば委員負担を前提に価格を改定するべきである。

無所属(※3)

私費会計を改めて
学校給食費の公費化を!

昨年度も指摘したエコーライフプラザのリニューアル展示・販売は人気が高かったが、当初の目的を達成していることは評価するが、販売収入より委託費が対内円赤字に上っており、今後この事業を継続するならば委員負担を前提に価格を改定するべきである。

無所属(※4)

区民の生活基盤を支え、働く人を大切にする行政運営を

不安定雇用の改善なく、保険料値上げ、社会保障の利用抑制が進められてきている社会状況であるため、区行政には保育・介護等、区民の生活基盤を支える福祉サービス拡充が求められている。特別会計事業の保険料値上げ改定はそれに反する。総務費の液状化対策経費について、様々な場面での災害対策の意識啓発と助成制度の区民周知の強化・継続を求める。

無所属(※5)

本区の不登校対策に
総力を挙げて健全な教育を!

27年度に執行された本区の予算は適切かつ妥当であると判断する。加えて区民目線に立った青木区政の前進の姿勢を真摯に評価するものである。以下各項目につき意見を申し添えるとともに、今後の区政運営の一助になればと考える。総務費 全体的にバランスの取れた執行であると評価する。中でも学校避難所の機能強化、公共施設の防災機能の強化及び水害対策の強化は安心安全の観点から不可欠である。

政策

葛飾区議会の危機管理の視点を

緊急事態を持った財政運営と
事業への危機管理の視点を
今般、景気動向は足踏み状態が続く内閣が9月に発表した平成28年4～6月期のGDPは年率換算で前期比横ばい(100.7%)にとどまり、公共投資などの一部を除き中小企業はまだ景気回復を感じられない状況が続いている。

総務費 土地開発公社が金融機関より融資を受ける金利が高すぎるため運用の改善を強く求め、また公共制度の存続の適否も検討の余地あり。出退勤管理の適正化、IT化を進めるべき。

都市整備費 補正予算での特定空室に対しての行政代執行を実施するなどスピード感を持った対応を評価する。

教育費 教育総務費では、特別支援教室の整備を高評価する。今後さらに進めていくために就学前からのアイリスネットの活用や、巡回指導教員を専門員に拡充・資質向上を求め、日本語を母語としない子どもたちの支援のため、(仮称)多文化共生センターの設置の準備を早急に進めるよう求める。

福祉費はババママ学級を希望者すべてに実施せよ

福祉費はババママ学級を希望者すべてに実施せよ。児童館管理運営経費は同じ施設で修繕に係る経費を施設維持課が発注している。効率性に欠けるため所管課に一任させる。保育支援費では整備方針に従いサービスや費用内訳を固め、それに沿った予算化のための施設整備を求め、児童館待機児童電話受付事業は、今後区へ移管される児童相談所との連携が不可欠。

都市整備費 掘切地区の街づくり事業は駅周辺の掘切五十丁目近を除外している。都下水道局と早急に協議を詰める。一部地区などを取り組み、交通安全は町会などで取り組まれているが、京成線掘切蒲田駅付近に渋滞しているにもかかわらず、車道両側に路上パーキングを設置し危険を伴う急急解除するよう求める。

教育費 スクールソーシャルワーカーの二二二と実績が、質の確保を前提とし、さらなる増員とチーム編成を求め、また、数年後には児童相談所が区へ移管されるが連携が可能な環境整備の準備を求め、小学校の特別支援教室設置準備は評価するが対象児童数が倍以上となる状況から、中学校への設置・検討を早急に始め、小学校では桜庭芝生花の不調となったが、一方で幼少期児童期からの士触れ合う必要性も指摘をされ、その機会を確保を求め、社会教育費の学校避難所運営は、直近の災害による被災地での避難所運営を研究、参考としてアトランニアアップによる東京五輪での練習会場にガイドによる東京五輪での練習会場に関して、練習会場としてアトランニアアップによる東京五輪での練習会場に視察されたが、今後選定の有無に拘らずこの機運を維持していくための工夫と努力を求める。各特別会計は了とする。

決算審査特別委員会
委員長報告(要旨)

決算審査特別委員会は、9月15日の本会議において、36名の議員をもって設置され、平成27年度会計歳入歳出決算について審査を行った。まず、当委員会では、同款項別の審査を行うために、4つの分科会を設置し、第1分科会は18名の委員により、一般会計歳入歳出決算のうち、議会費、総務費、産業経済費及び職員費、第2分科会は18名の委員により、福祉費及び衛生費、第3分科会は18名の委員により、環境費及び都市整備費、第4分科会は18名の委員により、教育費及び公債費のうち各特別会計歳入歳出決算を所管しました。

次の定例会は11月下旬開催予定です

可決された議案等

議案名下の☑は意見の分かれた議案
(各会派の賛否は下欄参照)

【区長提出議案等 19件】

予 算 4件
▼平成28年度一般会計補正予算(第2号)☑

歳入歳出にそれぞれ45億2千382万5千円を追加し、予算総額を1千855億9千92万1千円とする。

▼平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出にそれぞれ2億5千258万7千円を追加し、予算総額を61億4千58万7千円とする。

▼平成28年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出にそれぞれ3千187万2千円を追加し、予算総額を92億8千787万2千円とする。

▼平成28年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出にそれぞれ6億3千182万5千円を追加し、予算総額を353億5千482万5千円とする。

決 算 5件

▼平成27年度一般会計歳入歳出決算

▼平成27年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

▼平成27年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算

▼平成27年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算

▼平成27年度駐車場事業特別会計歳入歳出決算

一部を改正する条例 4件

▼行政委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、教育委員会委員長の報酬に係る規定を削るほか、所要の改正をする。

▼教育委員会教育長の給与等に関する条例

教育長の給料の月額を改める。

▼地区計画及び防災街区整備地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律の改正に伴い、青戸六・七丁目地区地区計画及び東新小岩二丁目地区地区計画の区域内において、ダンスホールを規制の対象から除外するほか、所要の改正をする。

▼自転車駐車場及び自転車置場条例

新小岩西自転車置場を新小岩西自転車駐車場とするほか、所要の改正をする。

▼水元中央公園屋外運動施設整備及び公園改良(その3)工事請負

▼水元中央公園改良(その4)及び防災活動拠点整備工事請負

▼水元中央公園改良(その3)工事請負

▼水元中央公園改良(その4)及び防災活動拠点整備工事請負

▼水元中央公園改良(その3)工事請負

▼水元中央公園改良(その4)及び防災活動拠点整備工事請負

▼水元中央公園改良(その3)工事請負

▼水元中央公園改良(その4)及び防災活動拠点整備工事請負

▼水元中央公園改良(その3)工事請負

▼水元中央公園改良(その4)及び防災活動拠点整備工事請負

▼水元中央公園改良(その3)工事請負

▼水元中央公園改良(その4)及び防災活動拠点整備工事請負

▼水元中央公園改良(その3)工事請負

▼水元中央公園改良(その4)及び防災活動拠点整備工事請負

▼水元中央公園改良(その3)工事請負

▼水元中央公園改良(その4)及び防災活動拠点整備工事請負

▼水元中央公園改良(その3)工事請負

▼水元中央公園改良(その4)及び防災活動拠点整備工事請負

結果の出た請願

葛飾区立飯塚幼稚園の今後の運営について保護者も含めた検討を改めて実施を求める請願

葛飾区立飯塚幼稚園の今後の運営について保護者も含めた検討を改めて実施を求める請願

お知らせ

○委員長 ○副委員長 ◇理事
▼議会運営委員会の委員構成が次のように変わりました

○簡井 たかひさ ○上原 ゆみえ
◇平田 みつよし ◇中村 しんご

◇米山 真吾 ◇大高 拓
秋本 とよえ 伊藤 よしのり

くぼ 洋子 黒柳 じょうじ
出口 よしゆき

▼地方分権・行革特別委員会の委員構成が次のように変わりました

○おりかさ 明実 ○伊藤 よしのり
秋本 とよえ 小川 正進

向江 すみえ 牛山 ひろみ
中江 秀夫 中村 けいこ

会田 浩貞 大高 拓

▼危機管理対策特別委員会の委員構成が次のように変わりました

○梅沢 五十六 ○江口 ひさみ
秋家 聡明 米川 大二郎

荒井 彰一 上原 ゆみえ
くぼ 洋子 三小田 准一

かわごえ 誠一 大高 拓
天野 ゆうや 水摩 雪絵

▼会派所属の変更
8月30日付をもって、天野ゆうや議員の会派所属が日本共産党葛飾区議会議員団から無所属に変わりました。

▼議員の住所変更
天野 ゆうや議員
青戸 1-21-1-101

意見の分かれた案件

(○賛成、×反対、一表決に加わらず)

件名	会派名 ()内は会派所属議員数										議決結果
	自民(13)	公明(11)	共産(4)	民進(3)	政葛(3)	無※1(1)	無※2(1)	無※3(1)	無※4(1)	無※5(1)	
予 算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
決 算	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	認定
	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	
	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	
	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	
条 例	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	可決
	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	
そ の 他	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	異議なし

自民=自由民主党議員団、公明=葛飾区議会公明党、共産=日本共産党葛飾区議会議員団、民進=葛飾区議会民進党議員団、政葛=政策葛飾、無=無所属

区議会だよりに記載の会派等の構成議員をお知らせします

会派名	構成議員名
自由民主党議員団	秋本 とよえ 秋家 聡明 向江 すみえ 中江 秀夫 会田 浩貞 天野 ゆうや うめだ 信利 小林 ひとし 水摩 雪絵 むらまつ 勝康
葛飾区議会公明党	荒井 彰一 上原 ゆみえ 牛山 ひろみ 三小田 准一
日本共産党葛飾区議会議員団	おりかさ 明実 中村 けいこ 米山 真吾
葛飾区議会民進党議員団	かわごえ 誠一 大高 拓 工藤 きくじ
無所属(※1)	天野 ゆうや
無所属(※2)	うめだ 信利
無所属(※3)	小林 ひとし
無所属(※4)	水摩 雪絵
無所属(※5)	むらまつ 勝康

広報委員会

- 委員長 安西 俊一
- 副委員長 荒井 彰一
- 委員 秋本 とよえ
- 委員 黒柳 じょうじ
- 委員 おりかさ 明実
- 委員 中村 けいこ
- 委員 大高 隆
- 委員 佐々木 隆

次の「かつしか区議会だより」は1月発行予定です